



タイトルは大事だが守りのレースはしたくない、と中須賀克行

JSB 1000 QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

中須賀克行が4/1000秒差でポールポジション! 今季初勝利が欲しい秋吉耕佑 イニシアチブを握っているのは果たして!?

シリーズ第8戦を迎えた全日本ロードレース選手権。JSB1000クラスは、最終戦が2レース制で行われるため、今回の岡山ラウンドを含め残りは、2戦3レースとなる。今シーズンは5戦を終え、中須賀克行が抜群の速さと安定感で3勝をマークし、2位2回というリザルトでランキングトップをひた走っている。事前テストから好タイムをマークしており、今回も中須賀がセッションをリードしていくかと思われたが、その前評判通り全セッションでトップタイムをマークし、4戦連続のポールポジションを獲得した。

「4戦連続のポールポジションなんて、今まで一度もなかったですから、うれしいですね。今日は、昨日に比べてかなり気温、路面温度も下がったので、セッティングのアジャストが必要かと思ったのですが、意外とそのままでも乗ることができましたし、アベレージも悪くないです。最後のセッションでは、28秒台に入れたかったのですがギリギリポールポジションを獲れましたね。決勝は、間違いなく秋吉さんとの一騎打ちになるので、勝てるように頑張ります」と自信満々。

この中須賀を止め、今シーズン初優勝が欲しいのがゼッケン1をつける秋吉耕佑だ。開幕戦の練習走行で転倒し負傷、前半戦を欠場していた秋吉だったが、第6戦SUGOから復帰。ここ2戦は、レースを引っ張る速さを

見せるものの、どちらのレースもコースアウトを喫し4位という不本意な結果に終わっている。Q3では、セッション序盤をリードしたものの4/1000秒という僅差で2番手となった。

「前回は惜しいレースだったね」と多くの方に言われたのですが実は厳しい状態でした。今回は、事前テストから順調にきていますし、マシンがようやくいい状態になってきました。予選は28秒台に入ると思ったのですが、少し届きませんでしたね。レースは、29秒台の戦いになると思います。中須賀くんとの一騎打ちですね」

3番手につけたのがカワサキのエース柳川明だった。

「事前テストから、なかなかいいフィーリングが得られず、金曜日まで引きずってしまっただけです。今日はガラリとセットを変えたのですが、Q1からようやくいいフィーリングになってきました。それでも30秒台の頭でしたから、そのままでは上にはいけないので、もう一つ上にいきたいところでした。岡山は序盤に離されると厳しいのでスタートを決めて、粘るだけ粘ります。今回は、(加賀山)就臣も(高橋)巧もいないので、こういうときこそイキたいよね」と虎視眈々と表彰台の中央を見据える。

この柳川のテールを捕らえつつあるのが、

市販キット車を駆る山口辰也だ。「すべりやすい路面だった事前テストの状態にマシンを合わせてきたら、レースウイークに入って路面コンディションがよくなってきたので、マシンをアジャストしたのですが、思ったよりタイムを出せませんでした。ただ、原因はハッキリしているので、決勝は、もっと速く走ることができると思います。岡山は、チームのホームコースなので、いいレースにしたいですね」と今季2度目の表彰台を狙っている。

5番手の今野由寛も1分30秒台に入れ、今シーズン一番の仕上がり。以下、東村伊佐三、清水郁己、武田雄一、藤田拓哉、片平亮輔など1分31秒台をマークしたライダーたちのバトルも熾烈になりそうだ。

前戦のオートポリスで負傷した加賀山就臣と高橋巧は、ケガが癒えないことから今回は残念ながら欠場。公式予選までの結果を見ると、レースは中須賀と秋吉の一騎打ちになる可能性が高いが、トップ2のペースに柳川がついていくことができれば、三つ巴のトップ争いとなるかもしれない。柳川のペースが上らなければ、その背後に山口が迫る展開となるだろう。いずれにせよ中須賀か秋吉のどちらかがレースをリードしていくことは間違いない。イニシアチブを握っているのはどちらだ!? (佐藤寿宏)



2番手 / 秋吉耕佑



3番手 / 柳川明

JSB 1000
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

ポールポジション: 1'29.111
#21 中須賀克行 / ヤマハYSPLレーシングチーム



攻めに行く、という自分のスタイルを崩したくない

『自己ベストを狙っていたのですが、コンマ3秒足りませんでした。タイム的には悔しいですが、ポールポジションを獲れたことはうれしく思っています。アベレージはいいので、決勝は自分が引っ張っていく展開にしたいですが、相手がいるレースなので、どうなるか分からないですね。マシン自体は勝負どころをしっかり作っているので自信はあります。攻めに行く、という自分のスタイルを崩したくないので、タイトルは意識せずに自分を信じて頑張りたい』

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

チャランポン・ポラマイが今季2度目のポールポジション「レースを精一杯走るだけ」



J-GP3続いて始まったST600の公式予選は、3週目に早くもマークした1分32秒523の記録タイムで、今季2度目のポールポジションを獲得したのがチャランポン・ポラマイ。同僚でポイントリーダーのデチャ・クライサーも32秒717の記録を破るタイムをマークして2番グリッドに位置し、好調を維持するタイ勢が1-2を占めた。

3番手には32秒954で津田拓也。4番手は井筒仁康が33秒338、5番手には岩崎哲朗が33秒403でRS-ITOHが2台続く。ここまでがピレリ勢で、ブリヂストンでは最上位の渡辺一馬が33秒506で予選6位となった。



ポールポジション: 1'32.523
#65 CHALERPOL POLAMAI / YamahaThailandRacingTeam

『予選は目標タイムを設定せず、最初の5周でベストを出すということだけ決めていましたし、予定通りにいってよかったです。第4戦オートポリスでの傷がまだ癒えていませんし、身体の状態を見ながらの走行だったのでポールポジションという結果には満足しています。決勝の作戦は特にありません。15週のレースを精一杯、走るだけです。今回は、たまたま自分のタイムが上だったけれど、(チームメイトの)デチャの方が速いかもしれません。チャンピオンがかかっているので、セーフティラインを考えて、こういう結果になったのかもしれないね』



QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

「ランキングのことはあまり考えずに、優勝だけを狙っていきます」渡辺一樹がP.P.!!



J-GP2クラスの公式予選、セッション中盤以降まではポイントリーダーの生形秀之が1分32秒877でモニターのトップに。ポイントで2番手につける渡辺一樹が続く。

終盤に入るとアタックも激しくなり、渡辺が32秒055までタイムアップ、レコードタイムをブレイクしてトップを奪った。生形も32秒602まで更新するものの、2番手でセッションが終了。

3番手には昨日の練習走行でトップだった野左根航太が32秒679、4番手が浦本修充で32秒968とここまでが32秒台。5番手に岩田悟が33秒100、6番手は野田弘樹で33秒150という予選順位となった。



ポールポジション：1'32.055 #26 渡辺一樹／RS-ITOH&ASIA

『今年は獲れそうで獲れなかったポールポジションがようやく獲れました。レースウィークに入りマシンも仕上がってきて、予選でまとまった状態になったので、一発タイムを出せました。クリアラップも、いいタイミングで取れたのでよかったです。レースウィークに入ってから路面の状況が毎日変わっていて、決勝でも変わると思うので、その中で様子を見ながらいきたいですね。ランキングのことはあまり考えずに優勝だけを狙っていきます』



QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

「レースではレコードタイムをクリアして序盤から逃げたい」長島哲太が連続P.P.



金曜日の晴天とは一転、雲に覆われて気温も上がらない岡山国際。J-GP3クラスの公式予選はオンタイムで始まった。

モニターのトップに立ったのは、1分36秒台をマークした長島哲太。長島はその後タイムを縮め、40分間の予選セッションが終わる直前には36秒253まで更新してポールポジションを獲得した。2番手にはセッションの後半でタイムを上げた山本剛大が37秒045で続き、3番手は山田誓己が37秒224でここまでがフロントロウを獲得。以下、森俊也、國峰啄磨、仲城英幸と続く。スポット参戦している藤井謙汰は10位、ポイントリーダーの徳留真紀は14位となっている。



ポールポジション：1'36.253 #45 長島 哲太／Project μ7C HARC

『1分35秒台を出してコースレコードを更新することが目標でしたが最後のアタック中に赤旗が出ました。それまでのセッションで赤マークが点いていたので悔しいですね。アベレージも悪くないので、決勝はたぶん一人旅になりそうですが周り次第ですね。(山田)誓己や(山本)剛大、仲城さんもテストでは37秒フラットぐらい出しているの、決勝でどこまでタイムを上げてくるかですね。オートボリスではバトルになってしまったので、今回は逃げのレースがしたいと思っています』



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走26台
●決勝スタート/15:15(20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	21	中須賀 克行	ヤマハYSPLレーシングチーム	YZF-R1	1'29.111
2	1	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	1'29.115
3	87	柳川 明	TEAM GREEN	ZX-10R	1'29.867
4	104	山口 辰也	TOHORacingwithMORIWAKI	CBR1000RR	1'30.371
5	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	GSX-R1000L2	1'30.804
6	7	東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	ZX-10R	1'31.479
7	11	清水 郁巳	ホンダドリムMRT高崎 B'WISE RT	CBR1000RR	1'31.647
8	53	武田 雄一	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	1'31.683
9	33	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R1	1'31.830
10	19	片平 亮輔	8810RwithMCR	CBR1000RR	1'31.922
11	55	須磨 貞仁	CONFIA HMF	GSX-R1000L2	1'32.917
12	8	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	1098R	1'33.392
-----以上Q3にて決定-----					
13	17	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	1'32.937
14	13	戸田 隆	ファーストスター>RIBE	S1000RR	1'33.373
15	35	原田 洋孝	RSガレージハラダ姫路	ZX-10R	1'33.403
16	36	西中 綱	HondaDREAMRT和歌山	CBR1000RR	1'33.522
17	27	村上 雅彦	チームムラカミ&ウッドストック	ZX-10R	1'33.600
18	16	高田 達人	TEAM Tras&8810	S1000RR	1'34.634
19	73	岸本 悟	39さまHKF&ウッドストック	GSX-R1000	1'35.573
20	99	吉田 和憲	救急救命戦隊Hcu RT	YZF-R1	1'35.579
21	111	藤本 悦生	TeamFuji☆LunRei	GSX-R1000L2	1'36.297
22	85	今津 比呂志	プラスワン MCR	ZX-10R	1'36.925
23	※15	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	計測出来ず
24	※39	田村 武士	テイクアップOIRF	GSX-R1000	計測出来ず
-----以上Q2にて決定-----					
25	78	藤枝 稔	バナナハンズレーシング	YZF-R1	1'37.071
26	65	和多瀬 邦治	スピードハート&オーテック鈴鹿	CBR1000RR	1'37.484
-----以上Q1にて決定-----					
-----以上予選通過-----					
予選通過基準タイム / 公式予選Q1上位3台の平均タイムの110% 1'38.671					



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走34台
●決勝スタート/11:10(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	65	CHALERMPOL POLAMAI	YamahaThailandRacingTeam	YZF-R6	1'32.523 R
2	30	DECHA KRAISART	YamahaThailandRacingTeam	YZF-R6	1'32.717 R
3	15	津田 拓也	WestPower	GSX-R600	1'32.954
4	77	井筒仁康	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'33.338
5	9	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'33.403
6	3	渡辺 一馬	KoharaRacing	CBR600RR	1'33.506
7	75	大崎 誠之	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	1'33.650
8	17	稲垣 誠	アケノスピード・MIC	YZF-R6	1'33.657
9	43	中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	1'33.717
10	16	國川 浩道	HiRaNo・HouYou	CBR600RR	1'33.982
11	88	柚木 力	オドリフェン&バイクピット東広島&ウッドストック	ZX-6R	1'34.002
12	19	伊藤 勇樹	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R6	1'34.302
13	20	中山 真太郎	TEAMしんたろうwithKRT	CBR600RR	1'34.303
14	634	小林 龍太	MuSASHI RT/ハレクプロ	CBR600RR	1'34.368
15	62	横江 竜司	森のくまさんMIZTEC仙台	YZF-R6	1'34.539
16	12	岡村 光矩	RSGLレーシング&ドリム北九州	CBR600RR	1'34.575
17	23	手島 雄介	CLUB PLUS ONE	CBR600RR	1'34.602
18	32	深津 拓真	チームスガイレレーシングジャパン	CBR600RR	1'34.606
19	28	藤島 翔太	4Sure ホンダドリム名古屋西	CBR600RR	1'34.732
20	26	篠崎 佐助	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'34.806
21	37	近藤 湧也	GBSLレーシング	YZF-R6	1'34.924
22	64	矢田 栄一朗	T.T.MOTO	YZF-R6	1'35.284
23	46	瀬崎 恭広	カメイレーシング&Teamまんだい	ZX-6R	1'35.289
24	25	清水 直樹	Express Houyou	YZF-R6	1'35.341
25	42	田島 聖貢	Teamマーキュリーアトミック	ZX-6R	1'35.682
26	41	中西 豊	立秋モーターズ&RC 甲子園	YZF-R6	1'35.921
27	83	松本 正幸	Teamマーキュリー&モトスト	ZX-6R	1'35.951
28	55	長谷川 直樹	CONFIA・HMF&AS小笠原	GSX-R600L1	1'36.202
29	44	松川 泰宏	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'36.278
30	35	宮崎 佳毅	TOHO.RACING.CLUB	CBR600RR	1'36.341
31	67	村山 徳孝	AS小笠原・ウッドストック	ZX-6R	1'36.668
32	47	定井 満	カメイレーシング☆ガレージA'	ZX-6R	1'37.107
33	54	菅原 豊	ケイスプロ	ZX-6R	1'37.465
34	50	河端 清次	TeamマーキュリーGMD神戸	ZX-6R	1'37.672

R印は、コースレコードを更新した。(従来のレコード:1'32.795)
予選通過基準タイム (110%) 1'41.775



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走42台
●決勝スタート/10:05(15周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	45		長島 哲太	Project μ 7C HARC	NSF250R	1'36.253
2	4		山本 剛大	Team NOBBY	NSF250R	1'37.045
3	5	Y	山田 誓己	TEAM PLUSONE&ENDURANCE	NSF250R	1'37.224
4	9		森 俊也	Team NOBBY	NSF250R	1'37.577
5	55	Y	國峰 啄磨	JARIRacing+ENDURANCE	NSF250R	1'37.618
6	3		仲城 英幸	Project μ 7C HARC	NSF250R	1'37.645
7	16	Y	亀井 雄大	18 GARAGE RACING TEAM	NSF250R	1'37.801
8	6		菊池 寛幸	KoharaRacing	NSF250R	1'37.834
9	31	Y	佐野 優人	SRS-JwithMORIWAKI	MD250GP3	1'37.862
10	1		藤井 謙汰	F.C.C.TSR Honda	TSR3B	1'37.943
11	18	Y	北見 剣	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	1'37.951
12	41		小室 旭	41PLN・Global.communication.loda	JR002	1'38.002
13	56	Y	前田 恵助	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	1'38.367
14	634		徳留 真紀	MuSASHI RT/ハレクプロ	NSF250R	1'38.423
15	26		矢作 雄馬	BIR Racing	NSF250R	1'38.471
16	74		三原 壮紫	ウイダー チームアイファクトリー-BB	NSF250R	1'38.946
17	13		岡田 義治	TヨシノILASPIRATION	NSF250R	1'39.029
18	50	Y	長尾 健吾	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	1'39.053
19	75		古市 右京	ASPIRATION・A-next	NSF250R	1'39.355
20	22		高杉 奈緒子	モトバムwithヒボタマス	NSF250R	1'39.368
21	21	Y	瀧美 心	レーシングチームムハニービー	NSF250R	1'39.437
22	47		安村 武志	犬の乳酸菌JP/プリミティブRT	NSF250R	1'39.519
23	99		中本 貴也	18 GARAGE RACING TEAM	NSF250R	1'39.906
24	70		葛西 雅迪	タニシ&SpeedHeart YERC	NSF250R	1'39.925
25	14		大西 隼	Project μ 7C HARC	NSF250R	1'39.962
26	93		谷川 壮洋	CLUB PLUS ONE	NSF250R	1'40.018
27	73	Y	岡部 圭佑	CLUB PLUS ONE	NSF250R	1'40.037
28	29		石崎 司也	MOTOBUM&たかだ農園	NSF250R	1'40.311
29	52	Y	島羽 蓮	TEAM TEC2 & TDA	TEC2-12	1'40.352
30	66	Y	辻田 晨央	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	1'40.368
31	88		岡崎 静夏	KoharaRacing	NSF250R	1'40.373
32	71		中臺 翔太	テルル&イー・モバイル★KoharaRT	NSF250R	1'40.429
33	20		山本 晃大	TEAM PLUS ONE	NSF250R	1'40.448
34	77		山本 恭裕	広島カジタレーシング&LRC	NSF250R	1'40.495
35	72	Y	三好 菜摘	オールスターモーターズスポーツ	NSF250R	1'40.540
36	37		高木 伸一	チームライヴ・ドリム北九州	NSF250R	1'40.838
37	33		川瀬啓一郎	チーム KOHSAKA	NSF250R	1'41.182
38	44	Y	林 祥由	TEAM YERC ドリムキッズ	NSF250R	1'41.294
39	46	Y	伊達 悠太	犬の乳酸菌/PRCS&バトルF	NSF250R	1'41.308
40	51		鈴木 正雄	X-LAND&鈴木家引業	NSF250R	1'41.427
41	43		畑中 要	FTR・タイヤナビ(株)遠藤住宅	NSF250R	1'41.730
42	39		太田 一貴	PRIDE★1&UKEJOY	NSF250R	1'45.136

-----以上予選通過-----
区分:Y=Youth
予選通過基準タイム (J-GP3:110%) 1'45.878



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走20台
●決勝スタート/14:05(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	26	渡辺 一樹	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'32.055 R
2	3	生形 秀之	エスハルストリームレーシング	GSX-MFD6	1'32.602
3	31	野左根 航汰	ウエビックチーム/ブリックヤマハ	YZW-N6	1'32.679
4	634	浦本 修充	MuSASHI RT/ハレクプロ	CBR600HP6	1'32.968
5	34	岩田 悟	CLUB PLUS ONE	HP6	1'33.100
6	10	野田 弘樹	テルル&イー・モバイル★KoharaRT	TSR6	1'33.150
7	16	中本 都	リリカAMENA with out Run	YZF-R6	1'33.159
8	14	大木 崇行	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'33.262
9	54	井上 哲悟	PITCREW&松戸FLASH	ZX-6R	1'34.153
10	51	高橋 英倫	PITCREW&松戸FLASH	ZX-6R	1'34.166
11	46	星野 知也	ミクニBeatテラー&カリー	GSX-R600L1	1'34.340
12	392	津田 一磨	ミクニBeatテラー&カリー	GSX-R600	1'34.597
13	57	村川 豊	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'34.727
14	2	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	TSR2	1'34.795
15	79	朝比奈 正	アサヒナレーシング	Z600	1'36.328
16	19	小川 理	ALLMAN&OWracing	YZF-R6	1'36.336
17	45	相馬 利胤	TT 45	MD600	1'36.396
18	810	大西 明	大阪SAMレーシング&Y'sF	SAM600RH4	1'36.824
19	37	赤間 清	CLUB HARC-PRO.	CBR600HP6	1'38.620

-----以上予選通過-----
20 58 岸本 孝司 建築工房きしもと&ハイブリッド ZX-6R 1'42.474
R印は、コースレコードを更新した。(従来のレコード:1'32.203)
予選通過基準タイム (110%) 1'41.261

アンケートに答えて
2012チャンピオンズをもらおう!

SUPERBIKE.JP 大 アンケート ●期間:2012年10月12日(金)00:00~開始予定
ファンサイト <http://superbike.jp/> から回答していただけます。

INFORMATION



全日本ロードレース選手権シリーズ テレビ放映予定

2012年シーズンは全日本ロードレース選手権、そして全日本モトクロス選手権がレース開催8日後に録画映像で放送されることになりました。放送局はBS12 TwellIV(トゥエルビ)で完全無料放送となります。現場ではカバーできなかつたシーンや迫力のバトルをあらためてお楽しみください!!

■放映スケジュール

全日本ロードレース選手権第8戦岡山国際 10月15日(月) 20:00~20:55

詳しくはファンサイトで→<http://superbike.jp/>

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

第8戦 岡山国際サーキット 10月7日(日)

09:50	J-GP3 コースイン~選手紹介
10:05	J-GP3決勝レース..... 15Laps
10:55	ST600 コースイン~選手紹介
11:10	ST600決勝レース..... 15Laps
11:50-12:40	ピットウォーク
13:50	J-GP2 コースイン~選手紹介
14:05	J-GP2決勝レース..... 15Laps
15:00	JSB1000 コースイン~選手紹介
15:15	JSB1000決勝レース..... 20Laps
16:30	サーキットクルージング(2輪一般体験走行)